

平成 27 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

1. 学校概要

学校名 新潟市立横越中学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒950 - 0208
新潟市江南区横越中央 3 - 4 - 1

E-mail j404yokogoshi1@city-niigata.ed.jp

Website www.yoko-chu.city-niigata.ed.jp/

児童生徒数 男子 158名 女子 153名 合計 311名
児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1 人権感覚を養い高める活動「人権プロジェクト」の実施

月1回の校内人権の日に、互いの人権感覚を磨き合い高める活動を実施した。また、同日を「チャンス相談日」とし、学級担任が日頃から気になる生徒に対して教育相談等を実施した。

① 人権の日全校集会における全校縦割りチームによるSST

→他者理解と自己開示を促進して、思いやりの心を育て、人権尊重の実践力を養う活動を実施した。

② 全校生徒による、人権作文への取組

→これまでの活動を振り返り、人権に関する考えを深めさせた。

③ 生徒会による思いやり集会の実施

→生徒一人一人が互いに尊重しあい、思いやりをもち、人権感覚を磨くために、メッセージを作成し、それをクラス毎に貼り合わせ生徒玄関に掲示した。

2 福祉講話、福祉施設訪問「人間の生き方・地域の福祉を考える」の実施

① 福祉現場の現状や障がい者を取り巻く状況を知り、自分の課題テーマを設定する。→児童福祉、高齢者福祉、障がい者福祉、福祉施設所長の講話

② 調査活動の計画作成→個人調査（図書、インターネット）および調べ学習、ふれあいプラザ福祉体験の準備

③ 福祉施設を訪問し、車いす、アイマスク体験や交流活動行い、人権についてレポートを作成し発表会を実施した。

以上の流れで、福祉という視点から生き方や人権について深く考え、今後の自分の生活を見直す活動を実施した。

3 「公民」の授業における国際理解の授業の実施

○ 南北問題、南南問題を考えるためのシミュレーション授業

- ・シミュレーションを通して、地域格差や国際協力、国際分業を考えさせた。
- ・シミュレーションにより、途上国の厳しい状況や困難な点を模擬体験することにより、日本人として、自分たちに何ができるか、何をすべきか考えさせ討論会を実施した。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

)